

2024 年度 学校関係者評価報告書

福島医療専門学校
学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会は「2023 年度学校自己評価結果」に基づいて学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告致します。

1. 開催日時・場所

日時：2024 年 9 月 8 日(日) 13 時 00 分～14 時 20 分

場所：福島医療専門学校 本部・柔整科校舎会議室および ZOOM によるリモート会議

2. 出席委員（敬称略）

《企業等委員》

加藤 めぐみ	わたなべ歯科医院勤務
三瓶 直之	安積野さんぺい整骨院院長
玉川 春美	公益社団法人日本歯科衛生士会 地域保健委員
山本 忠臣	株式会社善用堂メディカルケア代表取締役、福島医療専門学校康友会 前会長

《学内出席者》

飯島 正治	校長
齊藤 慎吾	教務部長
鈴木 英明	教務副部長
柴田 佐智子	教務副部長
後藤 陽正	柔整科学科長
千木良 美歩	鍼灸科学科長
今泉 正子	歯科衛生士科学科長
鬼越 勇人	事務長
小池 一幸	事務次長

3. 委員会の概要

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 2023 年度学校自己評価報告
- (4) 質疑応答・意見交換
- (5) 学校関係者評価委員による評価
- (6) 評価の公表
- (7) その他
- (8) 閉会

4. 教育の目的・目標

《建学の精神》

徳義の涵養と人間性尊厳の実践を理念とし、医療人たる社会的責務を自覚せしめ、国際社会に恥じぬ恒心をもつ、有徳の人材を育成する。

《教育目標》

- ①深い教養と諸能力を持つ人間を育てる
- ②医道に奉仕する心を持つ人間を育てる
- ③自然を敬い、生命の尊厳を重んじる人間を育てる

《教育方針》

- ①深い教養と諸能力を迫及する「創造教育」

グローバルな時代の中で、高い次元から「より深い哲学的教養を養い、文化を創造する能力」を育てる。

- ②倫理観と向き合い、人間愛にあふれた「医術教育」

医道を極めるにふさわしい臨床的技術を追求する過程において「思いやりと優しさに裏打ちされた奉仕の心」を育てる。

- ③美しいものに感動し、自然と人間のあり方を探求する「環境教育」

宇宙では、人間をはじめすべてのものは固有の生命を持ち、どれが中心ということはない。「生きとし生けるものは総て生かされている」という自然観を敬う心情を育てる。

《2023 年度重点教育目標》

■体験・体感させる教育の充実と拡大

■教育 I T 化の推進

5. 項目ごとの評価・課題・意見

※評価は 4(適切)を最も高く、1(不適切)を最も低いものとする。

(1) 教育理念・目標

評価項目	評価
1) 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4.0
2) 医療専門学校としての医療人教育がなされているか	3.9
3) 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.9
4) 学校の理念・目的・育成人材像・特色などが教職員・学生・保護者等に周知されている	3.9
5) 各学科の教育目標、人材育成像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.7

<課題と改善方策および委員会の意見>

・理念や目標は正しく共有できており、概ね達成できていると思われる。

(2) 学校運営

評価項目	評価
1) 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4.0
2) 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。事業計画の共通理解がなされているか	4.0
3) 運営組織や意思決定機能は、規則や校務分掌等において明確化されているか	4.0
4) 校務分掌における役割と職責が明確化され、有効に機能しているか	3.9
5) 人事、給与に関する規定等は整備されているか	4.0
6) 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.9
7) 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.9
8) 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4.0
9) 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4.0
10) 組織内におけるパワーハラスメントやセクシャルハラスメントへの対策が図られているか	3.7
11) 学内で新型コロナウイルス感染症対策が図られているか	4.0

<課題と改善方策および委員会の意見>

- ・ホームページに分かりやすく掲載されており、明確な学校運営がなされていると思う。
- ・ICT 活用のシステム整備を積極的に進められているのは大変良い。これに伴い、動画教材などを利用して教職員のスキルアップ研修を行うことで、より適切に ICT が活用されると思う。
- ・ハラスメント対策の徹底は今後も検討課題である。

(3) 教育活動

評価項目	評価
1) 教育理念等に沿ったカリキュラムの編成・実施方針等が策定されているか	4.0
2) 一定の到達レベルを目標とした教育や学習時間の確保がなされているか	3.9
3) 各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	4.0
4) 医療人の職業教育という視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4.0
5) 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.9
6) 関連分野における実践的な職業教育（産学連携による実技・実習等）がカリキュラムに組み込まれているか。	4.0
7) 授業評価の実施・評価体制はあるか	4.0
8) 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4.0
9) 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4.0
10) 国家資格取得に関する指導体制を体系的に明確に位置づけているか	3.7
11) 教育理念、教育目標の達成に向けて、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.9

12) 関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどの取り組みが行われているか	3.8
13) 関連分野における先端的な知識と技能等を修得するための研修や教員の指導能力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3.8
14) 教職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.2

<課題と改善方策および委員会の意見>

・鍼灸科においては、教員配置、カリキュラム・教科書改訂への対応により教育の質が一層向上し、生徒たちの学びがより深く充実したものとなっていくのではないかと。

・歯科衛生士科について、高校生の感覚では今までと同じ全日制の方が、ゆとりがあって良く見えるのではないかと。

⇒学力に不安のある高校生は全日制で授業時間が多いことに魅力を感じているようである。2部制との差をどう打ち出すか。

・担任制や個別指導はとても良いことである。今後も力を入れてほしい。

(4) 学修成果

評価項目	評価
1) 就職率の向上が図られているか	4.0
2) 国家試験合格率の向上が図られているか	3.9
3) 退学率の低減が図られているか	3.4
4) 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.0
5) 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3.9

<課題と改善方策および委員会の意見>

・国家試験合格率は100%ではないものの、高い合格率を維持できている。

・2) 歯科衛生士国家試験不合格者の就職先への対応や再受験に向けての本人への関わり、働きかけはどうなっているか。

⇒国家試験不合格者の就職先には、初めに学生自身が連絡を取り、その後担任からも報告をしている。就職先からは次年度に合格してからまた来てほしいと1年間アルバイトで勤める者もいる。科としては本人に対して面談をしつつ、学生が前向きに臨めるよう指導している。

(5) 学生支援

評価項目	評価
1) 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.8
2) 学生相談に関する体制は整備されているか	4.0
3) 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4.0
4) 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4.0
5) 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4.0
6) 学生の生活環境への支援は行われているか	4.0
7) 保護者と適切に連携しているか	4.0
8) 卒業生への支援体制はあるか	3.9
9) 学生、卒業生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.9

10) 高等学校や地域、業界団体との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4.0
11) 学生に対するパワーハラスメントやセクシャルハラスメントを防ぐ対策を講じているか	4.0

＜課題と改善方策および委員会の意見＞

- ・8) 9) 同窓会の動向や卒業生の把握に、SNSを活用するのも良いかと思う。

(6) 教育環境

評価項目	評価
1) 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4.0
2) 学内外の実習施設、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4.0
3) 防災に対する体制は整備されているか	3.7

＜課題と改善方策および委員会の意見＞

- ・2) 柔整科、鍼灸科の海外研修先はどこか。何日か。

⇒柔整科：研修先はフィリピンのデラサール大学医学部。6泊7日。鍼灸科：研修先は台湾中国医薬大学。5泊6日。

- ・3) 災害に備えて、非常用備蓄品としてどのようなものを整備されているか。

⇒マスク。非常水は備蓄しているが、食料や毛布までは準備できていない。

⇒災害はどこで起きるかわからない。トイレも対策している学校もある。最も大事なことは命を守ることである。

- ・3) 学生や教職員に携帯版のマニュアルを配付することで、防災意識の向上につながると思う。安全な学校管理体制が維持されており、学生、職員も安心できる環境が整っている中で、学習や業務に集中できる状態が確保されていると思う。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	評価
1) 学生募集活動は、適正に行われているか	4.0
2) 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4.0
3) 学納金は妥当なものとなっているか	4.0

＜課題と改善方策および委員会の意見＞

- ・校則で定められた染髪やアクセサリーの着用を緩和した結果、好意的に受け止められ、入学状況が改善したと思われる。
- ・学生数が減少傾向にあることから、より多くの入学者を確保できるよう募集活動を行う。

(8) 財務

評価項目	評価
1) 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3.0
2) 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4.0
3) 財務について会計監査が適正に行われているか	4.0
4) 財務情報公開の体制整備はできているか	4.0

＜課題と改善方策および委員会の意見＞

- ・歯科衛生士科の入学者減少が財務に影響しているため、改善が求められる。

- ・昨今の物価高により、材料費の高騰などで実習等に影響があるか。

⇒実習に関して各科とも影響は出ていないが、物品の単価が上がっているためコスト削減に取り組んでいる。

(9) 法令等の遵守

評価項目	評価
1) 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.0
2) 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4.0
3) 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4.0
4) 自己評価結果を公開しているか	4.0

＜課題と改善方策および委員会の意見＞

- ・基本的にはすべて順守できている。問題は見られない。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
1) 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4.0
2) 学生のボランティア活動を推奨、支援しているか	3.2
3) 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実習しているか	3.1
4) 地域や町内の行事や活動、奉仕作業への参加など、地域と学校との連携を図っているか	3.0

＜課題と改善方策および委員会の意見＞

- ・2) 学生ボランティア活動を積極的に推奨されているが、具体的にどのような活動に取り組んでいるか。

⇒柔整科では、教員にトレーナー派遣要請をいただいているので、その場に学生も同行させたい。鍼灸科ではサッカーの担架救護をしている。その他、小学生の大会救護やお灸教室など貢献できるよう活動している。歯科衛生士科では、歯の健康フェアやなりきり体験など外部から依頼があれば積極的に取り入れている。

- ・学校としてSDGsの取り組みについても明記されると良いと思う。

6. その他の意見

- ・自己評価は概ね適正であるとの評価がなされた。
- ・全体的に前年度の課題を見据えて取り組んでいることが伺えた。
- ・時代のニーズに即した医療人の育成に向けて、教職員一丸となって取り組んでいただきたい。